

アートギャラリー「弘徳学園ひゅうまん」作品一覧

① 花の都



② 水の宝石



③ ハロウィンの宴



④ わんこの遊び



⑤ 夕焼け



⑥ 夢の冬



⑦ たのしかった2月



⑧ 3月の思い出



「弘徳学園 ひゅうまん」

障害者支援施設ひゅうまんでは、利用者本人中心の支援を基本として、個人のニーズを中心にして、かつ、集団でしか味わえない経験や雰囲気を活かした支援を目指しています。その中でも個人の強みを活かした作品、個人の強みを活かし協力して作った作品を展示しています。ぜひご覧ください。



社会福祉法人クムレ 多機能型事業所コトノハ 作品一覧

①臘雪夜 (全体合同作品)



壁紙のサンプルをカタログから剥がし、台紙をリサイクルに出す活動をしています。その際に出た切れ端を使用し、ちぎり絵を作成しました。

大きな部分は多人数で楽しく一人ひとりできる工程に参加して作成し、家は1軒につき1人ずつ個性を生かして作っています。

モザイクアートのようにおぼろげな仕上がりに、雪が降る夜に霞む風景をイメージしてもらえたと 思います。

②アラカルト・カルテット

(左上：三宅直哉・右上：亀山禎昭・左下：矢野翔市・右下：田中生海)



好きな対象物の写真やイラストを利用の方に選択してもらい、好きな色の画用紙に、好きな色で絵を描いていただきました。4人の合同作品にしたのは、人によって様々な物の捉え方と表現の仕方があることを、芸術として表現したかったからです。

左上の作品は、複数のモチーフを選び、青はコーラ、赤と白は救急車、黄緑は芝、オレンジは鬼を選んで描いています。

右上の作品は、ラーメンの写真を選び、写真をラーメンの形に切り抜いてから、同じ形の同じ大きさの丸を描いています。

左下の作品は、青色の長靴を選び、「靴」と呟きながら一心不乱に描いています。

右下の作品は、ポテトチップスの袋を選び、ロゴを赤と青で表現した後、中のチップスをちりばめて描いています。

作品づくりを通して、利用者の方の考え方や感じ方、できることの理解を深めることができました。

③フルイド・コスモス (武田悠加)



この作品は、フルイドアートという技法を用いて惑星を表現しました。

好きな絵の具を混ぜ合わせ、流れ落ちる偶然の動きに身を委ねながら製作しています。

題名の「フルイド」はフルイドアートを、「コスモス」は惑星や宇宙を意味しています。

制御できない流れの中から生まれる色と形に、生成と変化を続ける惑星の姿を重ねました。

④好きな食べ物 (中村美乃里)



折り紙をちぎって画用紙に貼り、大好きなハンバーガーといちごを表現しました。

ハンバーガーは、具材を重ねるように色を選びながら作りました。

いちごは、初めは人参をイメージして製作していましたが、色や形を工夫していくうちに、段々といちごのようになっていき、改めて尋ねると「いちご」と言わっていました。

ちぎった折り紙の形や重なりから、食べ物の特徴が伝わる作品になりました。

⑤重なり (井上貴裕)



紙が破れるほど、ひたすらに時間を重ね書きしていった作品です。

ところどころに笑うせえるすまんのモチーフの絵や字があるのが見て取れます、他にも膨大な表現が詰まっています。

見る側がそれに意味を見出すことはできても、全ての真意は作者の方にしか分かりません。

社会福祉法人クムレ 多機能型事業所コトノハ 施設紹介

倉敷市で活動しています、社会福祉法人クムレ 多機能型事業所コトノハです。

私たち多機能型事業所コトノハは、生活介護、放課後等デイサービス、の2事業を運営しています。

地域で生活されている、障がい児者を含めた家族支援を多面的な視点で生活を支えるサービスを行い、利用者の夢・将来を一緒に考え、叶えていけるよう支援を行なっています！

どんなに障がいが重くても、住み慣れた地域でその人らしく生活が営めるように、地域共生社会を目指しています。

今回は、生活介護サービスを利用されている方々の作品を紹介させていただきます。

私たちは、活動時間や余暇時間に創作を取り入れています。紙を千切って貼ったり、線や丸を描いたりとできることを皆さんで取り組みながら、職員と一緒に協力して作品を創り上げています。

完成した作品は、ご家族にも観て頂く機会を設けています。

様々な材料や技法を使っていく中で、できることや好きなことなど新たな発見があり、支援に還元したり、それぞれの個性を生かす貴重な時間になっています。

これからも、利用者の方々のできることや強みを見つけていける時間を創っていきたいと考えています。

展示作品一覧 (社会福祉法人旭川荘 デイセンターあかしや)

作者名：青木 孝雄

作品名：「フルーツの中で一番好きなメロン」



作者名：磯野 雄志

作品名：「かもの上にヒラヒラおちば」



作者名：伊藤 宏

作品名：「クリスマスツリーに灯がともった」



作者名：大岡 新

作品名：「おいしそうなとうもろこし」



作者名：渡辺 充雄

作品名：「大きなかぼちゃ」



作者名：川上 翔平

作品名：「あじさい」



作者名：河本 弘子

作品名：「どのプレゼントにしようかな？」



作者名：橘 邦彦

作品名：「おしどり鬼」



作者名：相馬 宏範

作品名：「大きなピーマン」



作者名：武鑓 雅弘

作品名：「パズル」



「施設の紹介文」 デイセンターあかしや（障害福祉サービス事業所）は平成21年11月1日
に開所し、現在は10名（男性9名、女性1名）のご利用者が利用されています。生活介護事業を行っており、施設の特色としては、様々な活動を通してご利用者一人一人の意向や個性に沿った支援に努めています。日々の積み重ねが、ご利用者の人生における豊かさに繋がるものと願い、「軽作業」「創作活動」「健康体操」「クラブ活動」等の活動を展開しています。